

いけだ まちづくり 未完成 ビジョン

ビジョン

本書のワークを行った最後に
あなたのビジョン名を入れてください

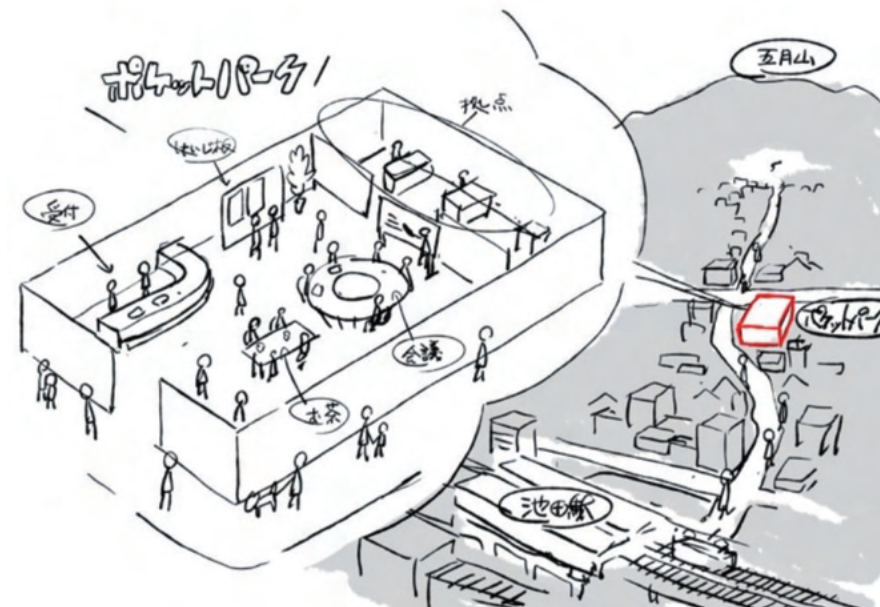
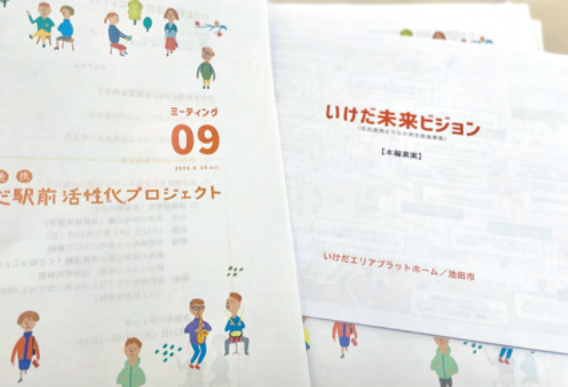
アイデア・メイキング編

いけだ駅前 未来ビジョン Vol.0

わたしの夢を叶える、はじめの一步。

著 =

あなたの名前を入れてください



2021~2022年度のワークショップでの話し合いから見えてきたのは、いけだの駅まち空間を自分たちが育て、これまで繋がらなかった仲間たちとの連携を生むという考え方でした。最初から大きな未来を描くのではなく、まずは一人ひとりが自分が楽しいと思うことを気軽にスモールスタートできて、そ

のトライアンドエラーを応援してくれるような風土と仕組みをつくっていきます。一人ひとりの活動が重なり合っていけだが活性化し、その中から支援する側の担い手が育っていく。それが日常化してきたとき、いけだを愛する人が増え、エリアの価値や暮らしの質は高まっているでしょう。

わたしたち「いけだエリアプラットフォーム」には、地元の事業者、商店主、学生、行政職員、インフラ企業、NPOなどがいます。多様な声を集めながら、いけだ駅前の大きなビジョン(将来像)を描き、それを実現するための自立・自走組織をめざして設立しました。ミーティングや社会実験をしてまちなかを再生するアイデアを出し合い、いけだ駅前の未来ビジョンを打ち出しました。今後はまちなかユーザー(市民や来街者など)の声を集めながらそのビジョンを更新し、使う側の目線で公共空間等の利活用を実施し、民間の投資と足並みを揃えて最大限の効果を発揮できるように行政の再整備に対しても提言を行います。人材や投資を惹きつけて、いけだ駅前の魅力・エリアの価値を高める、官民連携のまちづくりのあり方です。



目次



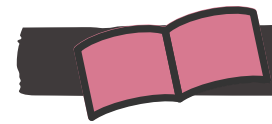
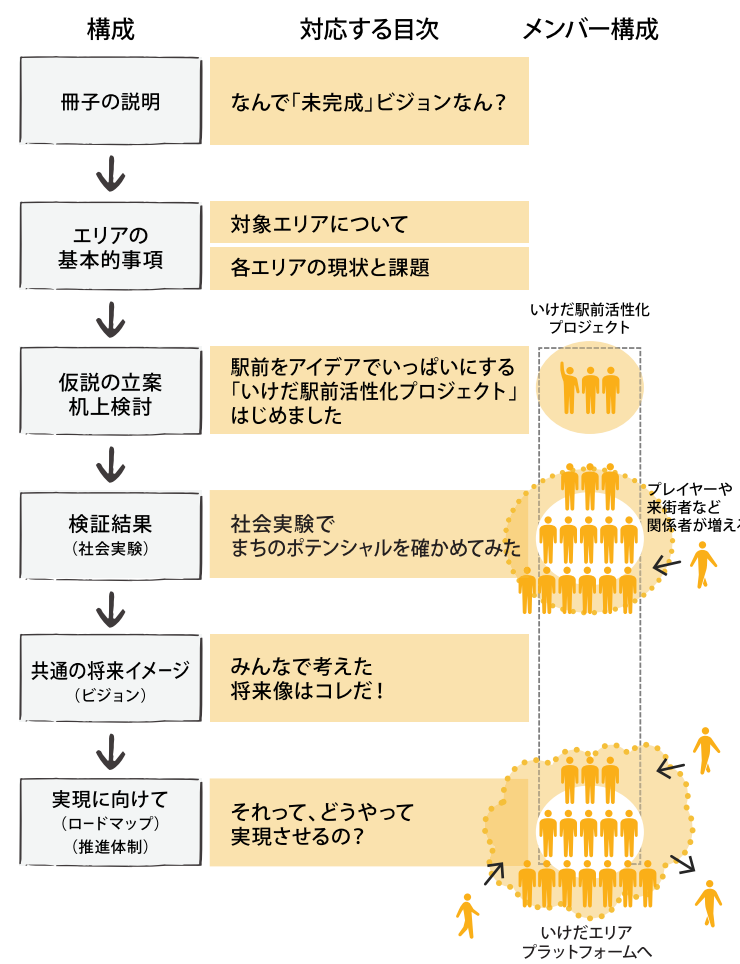
アイデア・メイキング編

私のアイデア、どうするん? 05	アイデアを重ね合わせると、いけだ駅前の大きなビジョンになる 07
いけだ駅前と自分を知ってアイデアを組み立てよう 09	考えてみよう&解説 10
もっと詳しい解説 説明 14	いけだ駅前を歩いて「こんな風に使ったら楽しそう!」アイデアを書いて場所を線で結んでみよう。17
いけだ駅前の「お気に入りの場所リスト」を作ろう 19	お気に入りの場所をもっと好きになるには? アイデアを企画にしよう 21
あなたのアイデアをカタチにするには 23	お気に入りの場所でやってみたいことを1~4つまで書き出してみよう 25
あなたの「やってみたい」を企画にしよう 26	企画をブラッシュアップしよう 31
ブラッシュアップしよう 33	アイデアを人に伝えよう! 35

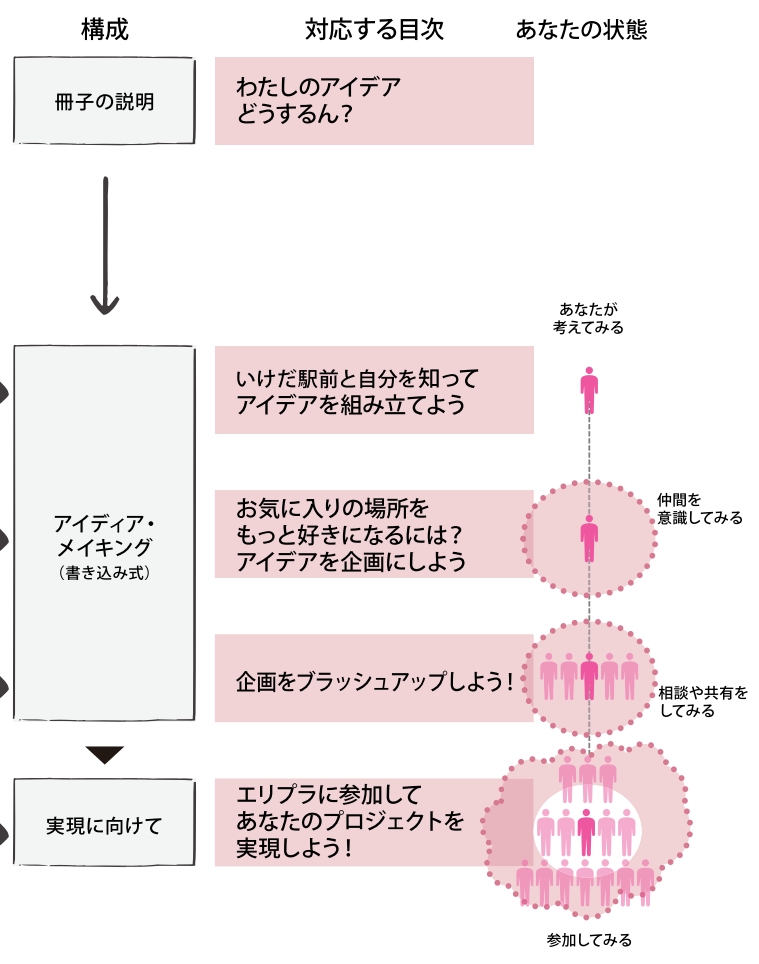
先輩のインタビュー hop、step、jump 37	先輩のインタビュー hop、step、jump 37
インタビュー 詳細 38	まちづくりの潮流やキーワード コラム 45
あなたの企画をプロジェクト化しよう! 47	あなたの企画をプロジェクト化しよう! 47
エリプラに参加してあなたのプロジェクトを実現させよう! 49	いけだまちなかユーザー交流会、スターティング・ミーティングであなたの活動をサポート 51
あなたのプロジェクトを実現するまでの流れ 52	あなたのプロジェクトを実現するまでの流れ 52
あなたのビジョンが一步進んだ・かなった写真をはろう 53	あなたのビジョンが一步進んだ・かなった写真をはろう 53



ビジョン編



アイデア・メイキング編





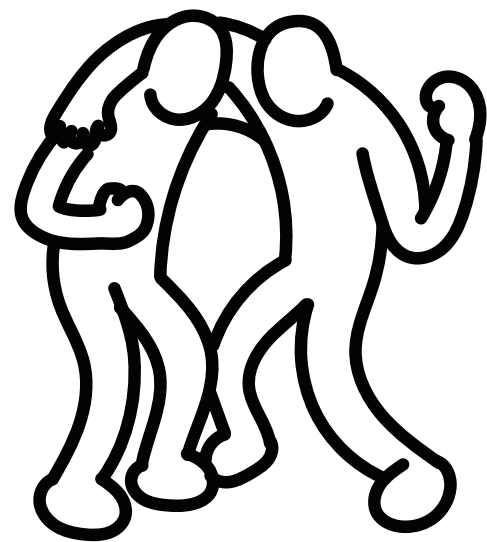
わたしの

アイデア、どうするん？

idea mana

gement

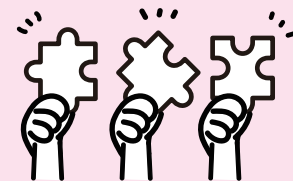
アイデアを重ね合わせると、 いけだ駅前大きなビジョンになる



まずは、あなたの「未来ビジョン」を
構成するアイデアを出してみよう

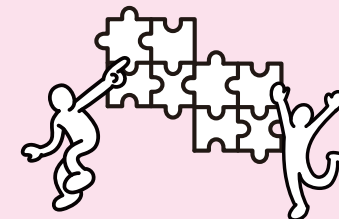
まちをつくるってどういうこと？わたしとど
う関係があるの？と思っている人はいません
か。いけだ駅前はいま転換期にあり、様々なと
ころで再整備が進もうとしています。まちを“使
う人”の意見を取り入れて使いやすい「器」を作
ることで、活動のフィールドが大きく増えていき
ます。そのために、一緒に未来ビジョンを考え
ていきたいのです。

個人と全体
それぞれのビジョンと、まちのビジョン



一人ひとりが思い描く「こん
なまちになったらいいな」と
いうビジョンには、色々な形
があるでしょう。それらを何
重にも重ね合わせて、いけだ
のまちの未来像を創っていき
たいと思っています。この冊
子は、まさにあなたの思い描
く未来ビジョンになります。

まちづくりの方針
ビジョンをまちに実装します



冊子に書いた未来ビジョン
を、まちに実装し、まちをどん
どん成長させていきましょう。
いけだのまちづくりは行政だ
けが担っているのではなく、
官と民がそれぞれの役割で動
き実現させていくことができ
ます。あなたの夢が展開でき
るいけだ駅前を作りましょう。

支援組織
あなたのビジョンを応援します



まちづくりに初めて携わる
人に対して、「いけだエリアプ
ラットフォーム(エリプラ)」が
ビジョンの実現までしっかりと
伴走します。エリプラは市
民、事業者、公園等の指定管
理者、行政の各課担当で構
成しており、色々な立場で連
携できる強みがあります。

いけだ駅前と自分を知って
アイデアを組み立てよう

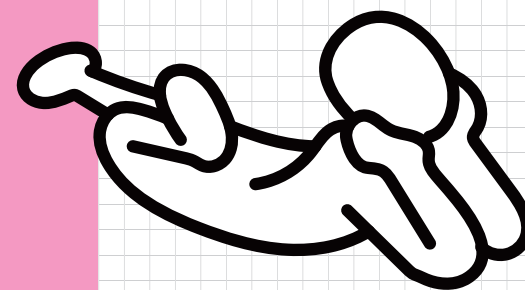
assemble

考えてみよう

池田市の人口、世帯数(2022年)は？

池田市の主要交通機関は？

池田市のまちの特徴は？



an idea

解説

大阪都心とは阪急電鉄宝塚線や国道176号など幹線交通網で結ばれています。南には大阪国際空港があり、広域的な交通の結節点でもあります。市内には猪名川、余野川、箕面川等の河川が流れ、これら河川が形成した段丘地形や低地な地形が広がっています。また、五月山が分布しており、自然環境に恵まれた地域です。

池田市の人口、世帯数(2022年)は？

人口は103,074人
世帯数は49,506世帯(2022年12月現在)

池田市の主要交通機関は？

阪急電鉄(池田駅、石橋阪大前駅)や阪急バス、大阪国際空港などを基本にネットワークを形成

池田市のまちの特徴は？

医療・福祉・商業等の生活機能が整った、安心して暮らせるコンパクトなまち

考えてみよう

歴史は？

どんな商業施設がある？

有名スポットは？



解説

池田市は古い歴史を有し、江戸時代には西国街道や能勢街道などにより交通の要衝として発展してきました。江戸時代前期には酒造業が盛んになり、物資の集散地として商業が栄え、多彩な文化が開花しました。明治時代以降も、国や大阪府の出先機関などが設置され、地域における政治、経済、文化の中心地として発展し、住宅地開発が進んでいきました。

歴史は？

西国街道や能勢街道、箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)などにより交通の要所として発展。沿線での住宅地開発が進んでいきました。

どんな商業施設がある？

駅直結のサンシティや、ダイエー、阪急池田ブランマルシェ、ステーションN、サカエマチ商店街などの商業施設が立ち並んでいます。

有名スポットは？

落語みゅーじあむ、カップヌードルミュージアム大阪池田、呉服座、逸翁美術館など

もっと詳しい解説



Explain

人口、世帯数

1975(昭和50)年に10万人を突破して以来、現在に至るまで10万人余りで推移しています。2010(平成22)年以降は減少期に入り、社会保障・人口問題研究所によると2045(令和27)年には約88,500人まで減少することが予測されており、中長期的には人口は減少していくと見込まれています。



主要交通機関



池田市は大阪府の北部に位置し、阪急宝塚線で大阪梅田駅から乗り換え無しで約20分の距離にあります。また、市の南には、豊中市や伊丹市にまたがって大阪国際空港(伊丹空港)があり、陸・空ともに交通利便性の高い立地です。

池田市のまちなみ

市内の各所に国登録有形文化財を含む歴史的建造物が残り、レトロなまちなみが魅力です。古民家をリノベーションしてカフェやギャラリーとして再



活用する個店もちらほらと見られます。また、池田市には日本初の郊外分譲住宅地として知られる池田室町住宅地があり、住宅地という側面からも豊かな歴史を感じられます。緑豊かな五月山と猪名川に囲まれ自然が身近に感じられるのも池田市のまちなみの特徴です。



文化や歴史

池田市には5つの古墳が残っています。また織姫伝説ゆかりの呉服神社はロマンあふれる観光スポットとして人気です。古くから交通の要衝として発展してきた為、神社・仏閣も多数残っています。



また、池田市は数多くの著名人を排出しています。中でも阪急電鉄をはじめとする阪急東宝グループの創業者である小林一三氏、インスタントラーメン「チキンラーメン」やカップ麺「カップヌードル」の開発者として知られる、日清食品株式会社の創業者安藤百福氏の功績は、池田市の歴史に多大な功績を残しています。

商業施設・有名スポット

阪急池田駅前には、直結するショッピングモール「サンシティ池田」があり、令和元年5月からは池田市立図書館が入っています。さらにその並びには「ダイエー」、高架下には「阪急池田ブランマルシェ」、市役所側には「ステーションN」と商業施設が立ち並んでいます。また駅前から山の手につながる



サカエマチ商店街も地元民の生活に寄り添っています。落語みゅーじあむ、カップヌードルミュージアム大阪池田、呉服座、逸翁美術館などの有名スポットは市内外から人気がありますが、近隣の川西市などヘレジャーや買い物に出してしまうという一面もあり、より魅力的なライフスタイルを提供することが課題とも言えます。



いけだ駅前を歩いて 「こんな風に使ったら楽しそう!」アイデアを書いて 場所を線で結んでみよう。

実際に歩いてみて、
写真を撮って貼ったり、
イラストを書いたり……

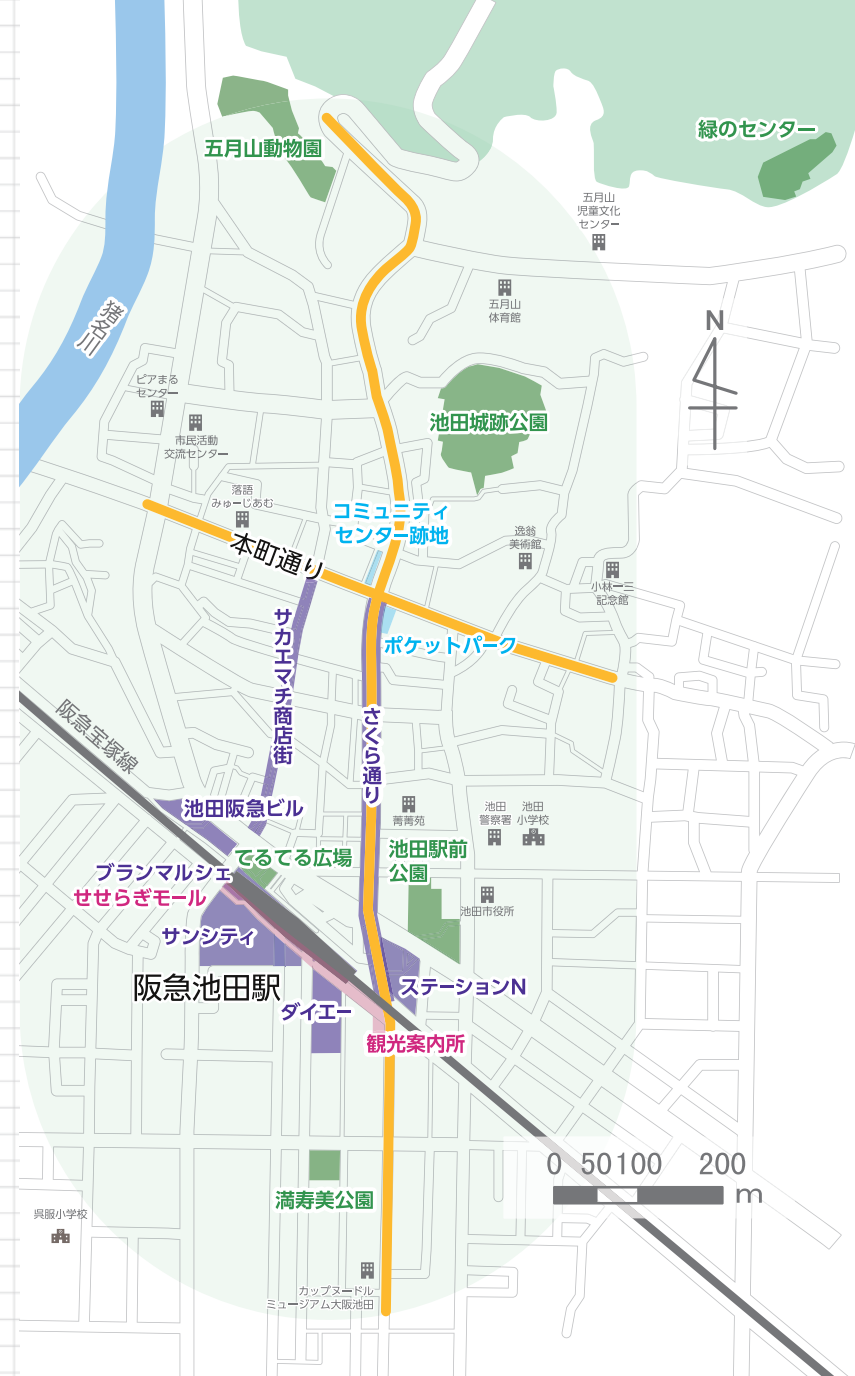
「すでに良い」こと、
「これからこうしてほしい」ことを
例えば、こんなふうに書いてみよう

(例)
城跡公園の展望休憩舎でバーができれば楽しそう
池田の夜景を見ながら、静かにお酒を飲みたい

住んだら楽しそうな場所

ワークスペースがあったら楽しそうな場所

時間ができた時に何かやってみたい、楽しそうな場所



ちょっと休憩できたら楽しそうな場所

グルメやカフェがあったら楽しそうな場所

_____して過ごしたら楽しそうな場所
(あなたが思いつく言葉を入れてください)

いけだ駅前を知ろう! まち歩きツアーのご案内
いけだエリアプラットフォームでは、まち歩きツアーを実施しています
場所: 仮拠点(ポケットパーク) 〒563-0058 大阪府池田市栄本町11-9
持ち物: アイデア・メイキング冊子(この冊子)、筆記用具、カメラ(スマホ可)
予約: webサイトからお申し込みください
問合せ先: 090-3283-2565(吉岡)

いけだ駅前の<お気に入りの場所リスト>を作ろう

普段当たり前前に過ごしているまちの中で、あなたが好きな・大切な<お気に入りの場所>をリストアップしてみよう。それが他の人の<お気に入りの場所>と重なっているか聞いてみよう。

お気に入りの場所はどこですか？	お気に入りの理由は？
<input type="checkbox"/> (例)サカエマチ商店街のウォンバットの置物があるベンチ	さりげなく街に溶け込んでいて素敵！
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

考えのヒント

「コミュニティ・デザイン」を提唱したランドルフ・T・ヘスターは、私たちが自分の住処や地域において深い愛着を持てる場所を「sacred place(聖なる場所)」と呼び、「その場所は、人々が日常生活の中で、平凡なことに感動し、最も深い価値観にしたがって生きることを可能にするために重要である」と言っています。

その場所でいつも何をする？	みんながその場所を、もっと好きに、大切になるアイデアは？
買い物帰りに荷物を整理したり、水分補給で腰掛けたりする	ゆっくり休憩できる憩いの場になったらいいな

お気に入りの場所を
もっと好きになるには？

plan



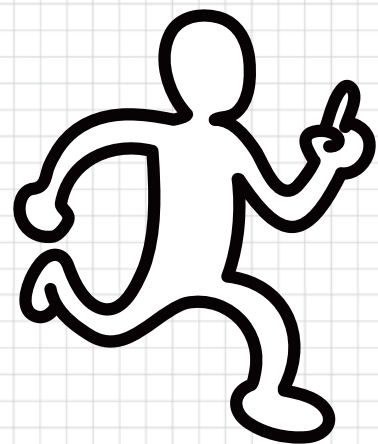
アイデアを企画にしよう

your idea

あなたのアイデアをカタチにするには

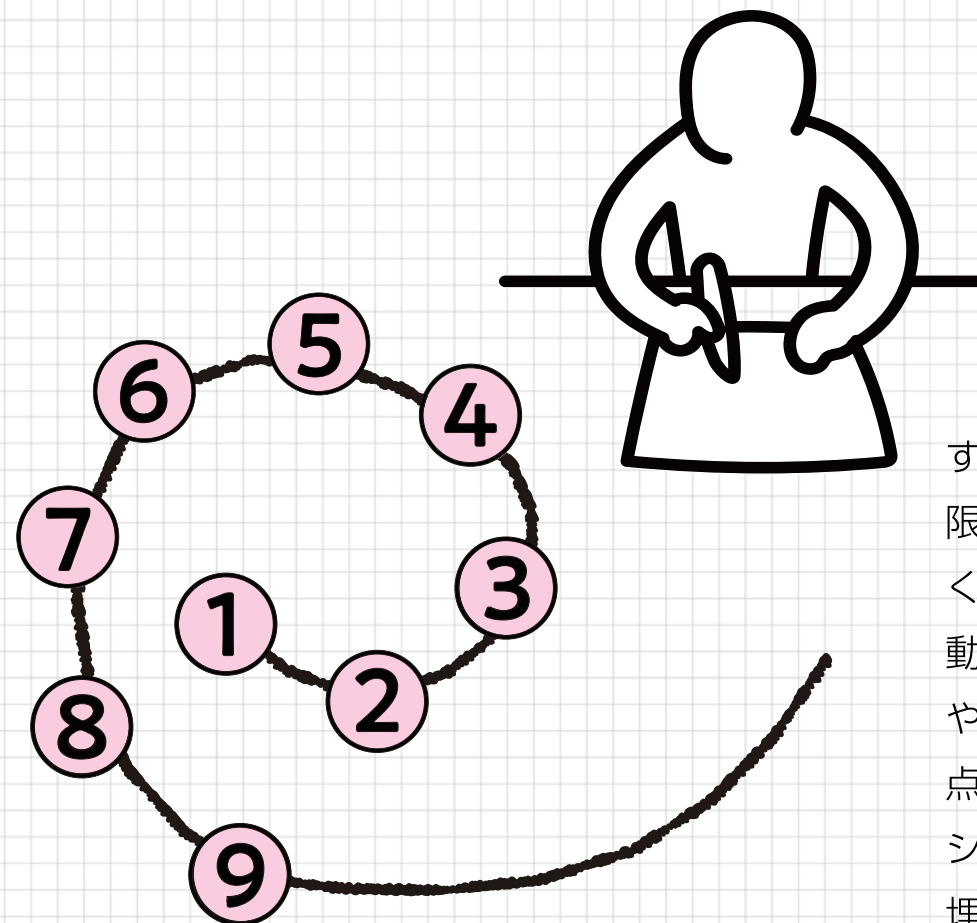
あなたは、いけだに暮らしている人ですか？
いけだの学校に通ったり、いけだで働いたりしている人ですか？

いけだ駅前を、ここに关わるすべての人のビジョンを重ね合わせて、自分たちの手で作っていきませんか。p25のワークシートに、手始めに「やってみたい」ということを書いてみて下さい。



アイデアを形にする9つの視点

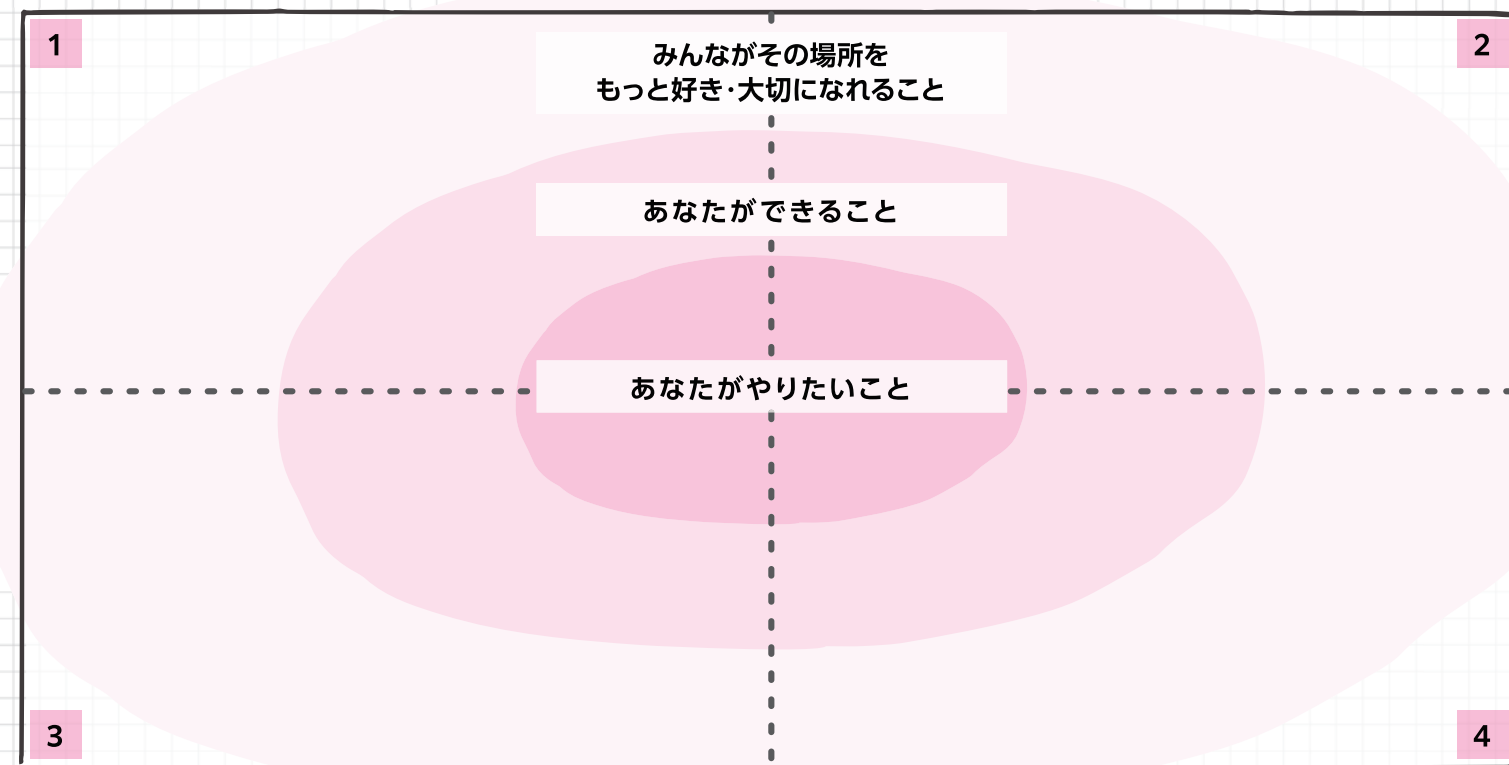
- ① 思いを整理する
- ② 好きなエリアについて考えてみる
- ③ まちの社会背景を知る
- ④ 人との関わりや連携を知る
- ⑤ めざす目標、計画をたてる
- ⑥ 相談する
- ⑦ 人やコミュニティとつながる
- ⑧ トライしてみる
- ⑨ ブラッシュアップして繰り返してみる



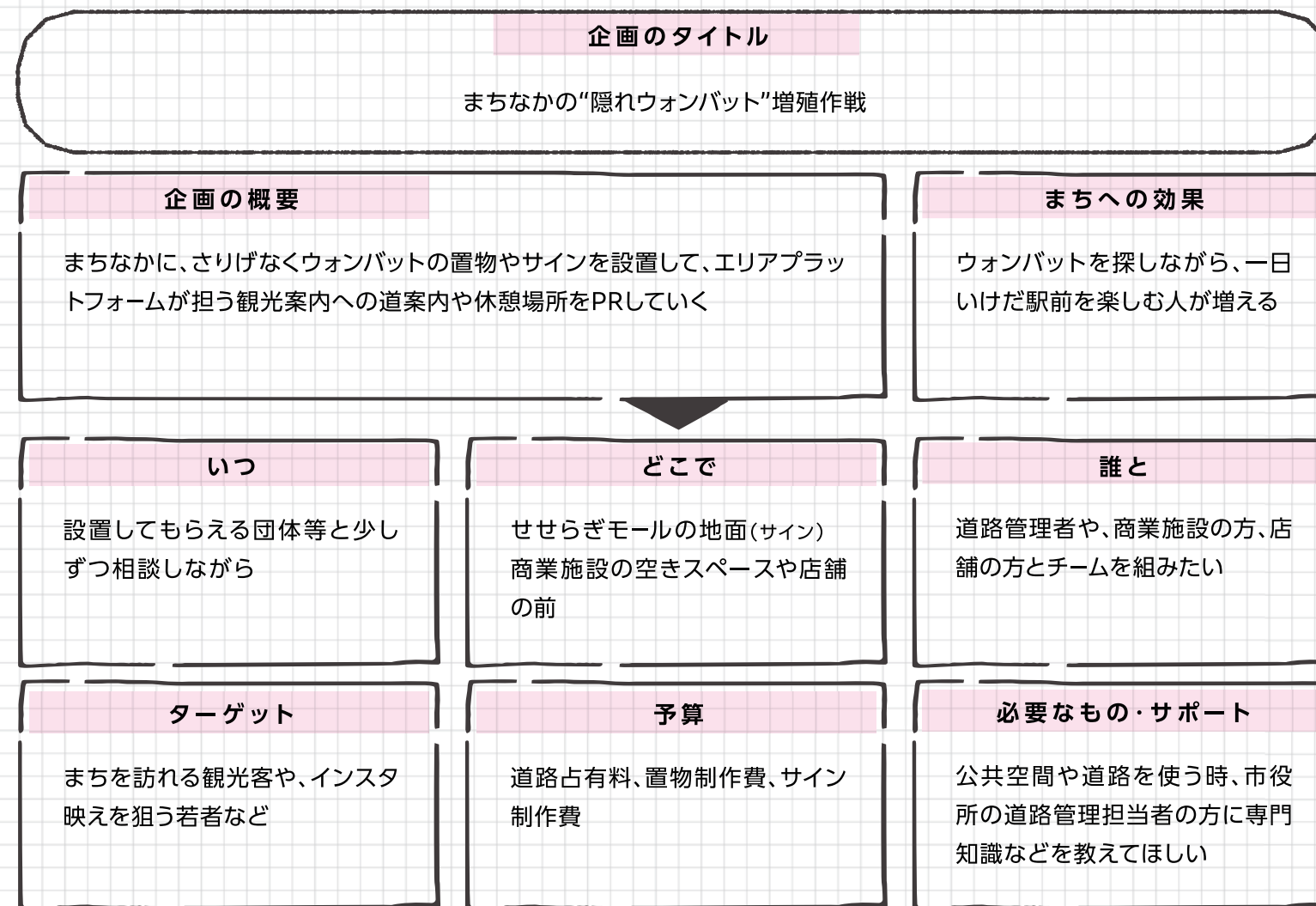
「やりたい!」という気持ちは大切ですが、それだけでは良い活動になるとは限りません。どんな人に向けた活動をつくりたいのか、どんな駅まちエリアで活動してみたいか、どんなスケジュールでやるのかを、左ページの9つの視点を参考にしながら、p26からの企画シートに具体的に書き記してみましよう。埋まらない箇所はエリプスや周りの人に相談しながら、活動企画を具体化していきましょう。

お気に入りの場所でやってみたいことを 1~4つまで書き出してみよう

「あなたがやりたいこと」の周りに、「あなたができること」と、「みんながその場所をもっと好き・大切になれること」も書いてみよう。



あなたの「やってみたい」を企画にしよう(例)



あなたの「やってみたい」を企画にしよう

企画のタイトル		
1		
企画の概要	まちへの効果	
いつ	どこで	誰と
ターゲット	予算	必要なもの・サポート

あなたの「やってみたい」を企画にしよう

企画のタイトル		
2		
企画の概要	まちへの効果	
いつ	どこで	誰と
ターゲット	予算	必要なもの・サポート

あなたの「やってみたい」を企画にしよう

企画のタイトル		
3		
企画の概要	まちへの効果	
いつ	どこで	誰と
ターゲット	予算	必要なもの・サポート

あなたの「やってみたい」を企画にしよう

企画のタイトル		
4		
企画の概要	まちへの効果	
いつ	どこで	誰と
ターゲット	予算	必要なもの・サポート

いけだまちづくり
「未完成」ビジョン

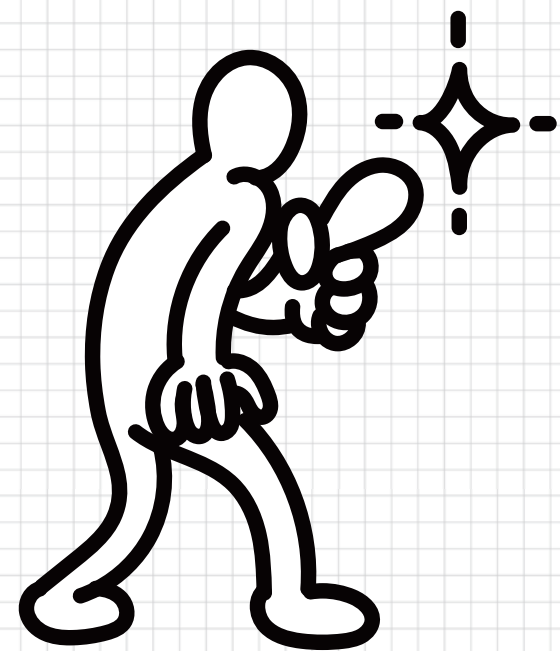


企画を

ブラッシュアップしよう！

brush up your idea

書き出したあなたの企画を
ビジョン編の将来像と照らし合わせたり
誰かに相談したりして、ブラッシュアップしよう！

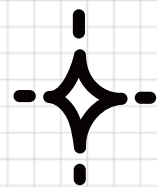


ビジョン編や、アイデア・メイキング編で、協力者の存在や、駅前事業者や行政の活発な動きなどを見てきました。ここで、先ほど記入した企画シートを振り返ってみましょう。あなたのアイデアを押し進める新たな可能性や発見があれば、追記してみましょう。p35の関連図を参考に、誰かに相談してみて分かったことも書き加えてみると、アイデアが実現にグッと近づくのを感じるかもしれません。大切なのは、まず人に話すこと！自分の考えを積極的に発信し、主体的に行動することで人を巻き込み、相互に助け合って、それぞれの未来ビジョンを具体化させていきましょう。

あなたの企画をブラッシュアップしよう！

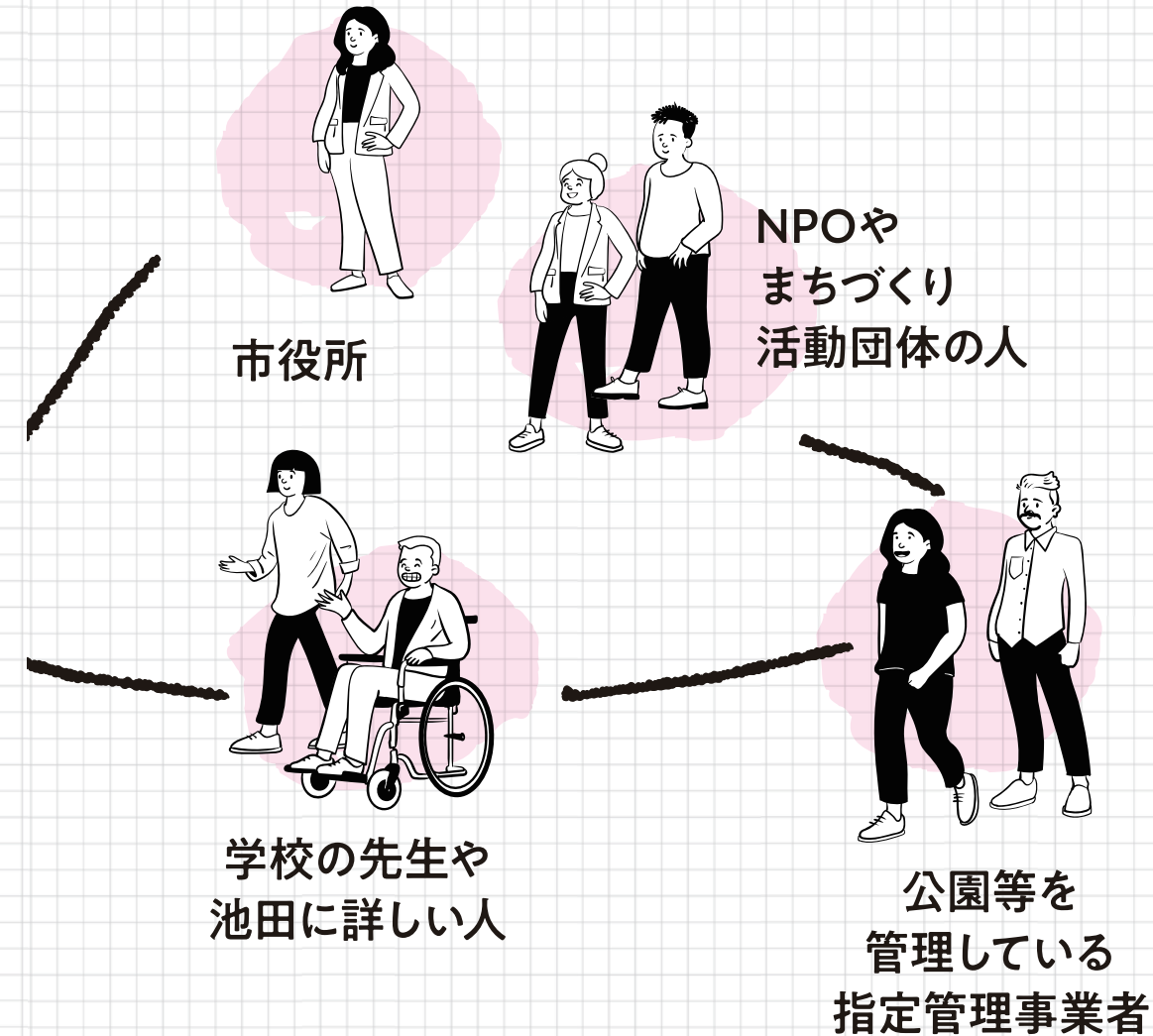
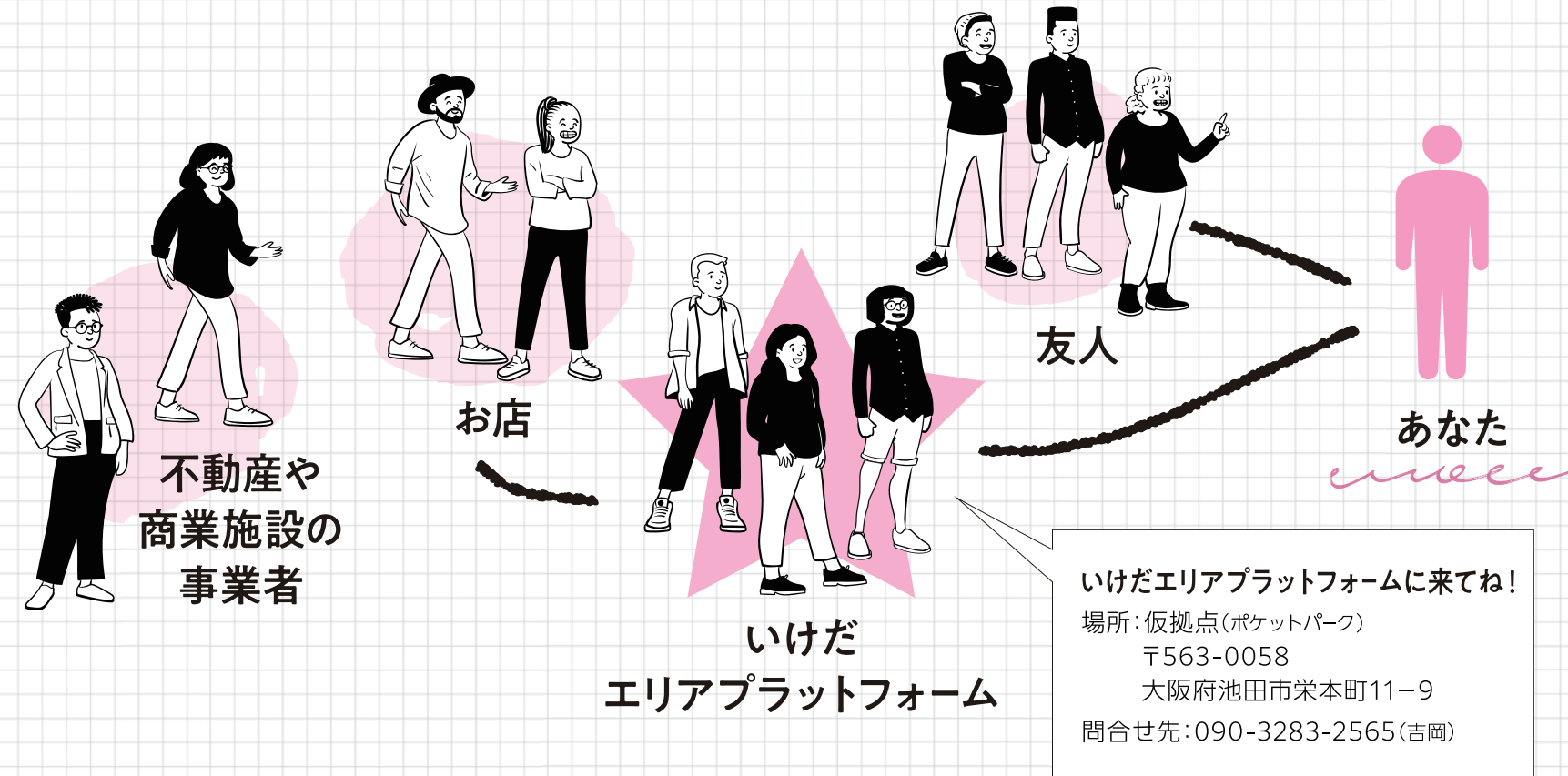


企画のタイトル		
企画の概要	まちへの効果	
いつ	どこで	誰と
ターゲット	予算	必要なもの・サポート

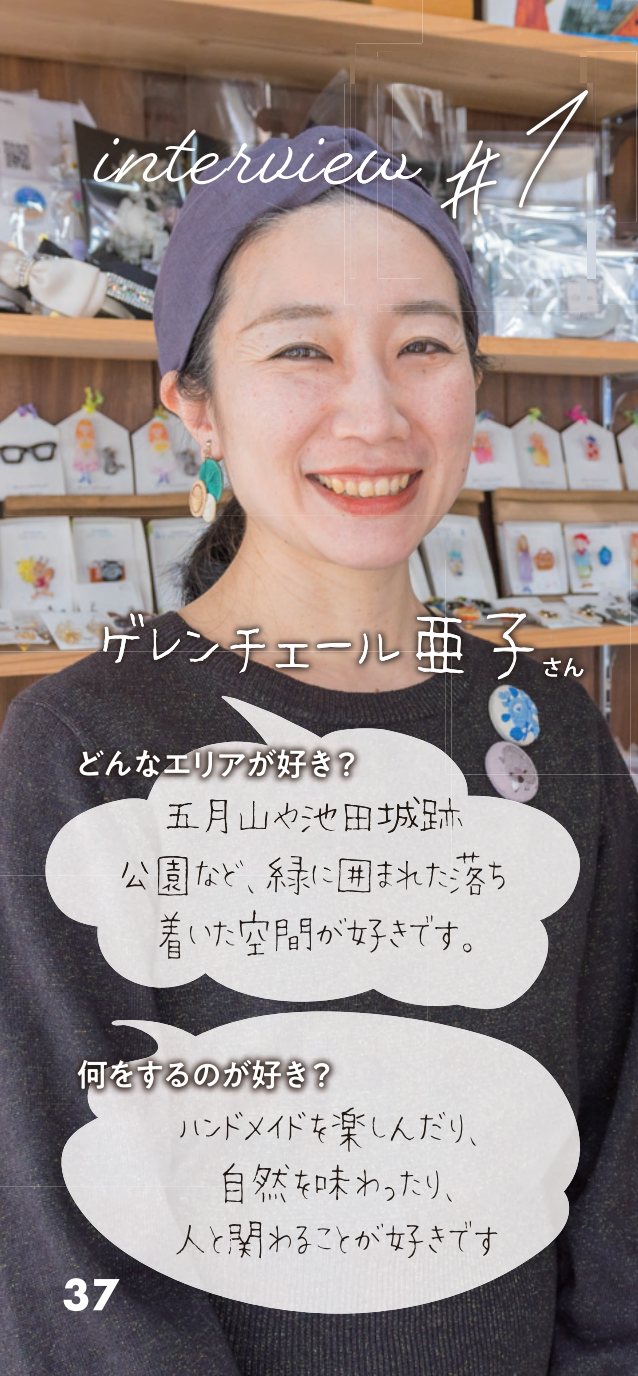


アイデアを人に伝えよう!

まちづくりに関わる様々な人に、考えをシェアしてみよう。誰に話そうか迷ったら、まずはいけだエリアプラットフォームに行こう!



まちづくり実践者の先輩たちに「なぜ企画や事業ががうまくいったのか」を尋ねると、「たまたまキーパーソンと出会った」「たまたま集まりがあった」という答えが必ずと言って良いくらい返ってきます。「たまたま」を引き寄せるにはまちに様々な協力者がいることを知る必要があります。可能性を広げる出会いの構造を明らかにするため、行政・地域・事業関係者などの相関図を整理してみましょう。あなたはまず、誰と話してみたいですか?



interview #1

ゲンチェール 亜子 さん

どんなエリアが好き？

五月山や池田城跡公園など、緑に囲まれた落ち着いた空間が好きです。

何をするのが好き？

ハンドメイドを楽しんだり、自然を味わったり、人と関わるのが好きです

先輩インタビュー

市民代表

キーワード：スモールスタート、指定管理者、SNSでの告知、Canva

いけだの景観を生かした「お城マルシェ」

Hop
ホップ

緑が多くて大好きな池田城跡公園でマルシェがあったら素敵だなと思い、自分で主催してみようかな、と企画を温めていました。

Step
ステップ

エリプラの集まりに行ってみると、公園を管理する方も参加されていて、名刺を交換。趣旨を説明して前向きに検討いただき、マルシェ出店者をつめました。

Jump
ジャンプ

初回のマルシェは天気にも恵まれ、無事実施できました。今後も来場者や出店者、公園管理者のみなさんからのフィードバックを生かして継続開催しています。

場所の尊重と、イメージの具体化が大切

インタビュー詳細



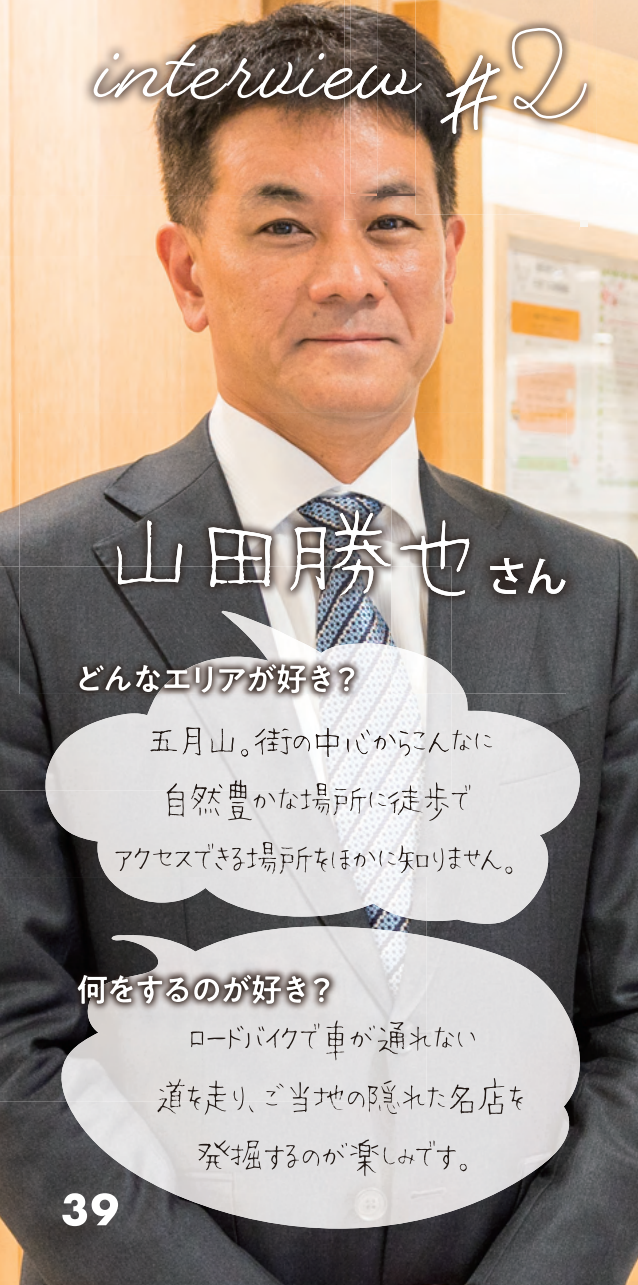
“otthon(オトホン)”という名前のハンドメイド雑貨店を市内で営んでいます。緑豊かな池田市が好きで、家族で住む場所を池田にしたのも、五月山や猪名川などの自然に触れる魅力があったからでした。緑が大好きな私にとって、城跡公園はとっておきの場所のひとつ。「こんな場所でマルシェがあればいいな」と考えて「自分でやってみよう」と動き出しました。てるてる広場を借りて、作家さんの手作りを販売するハンドメイドブースを一人や少人数で出店する“ぶちま”を何度か実施していた経験があり、公園などの公共の場所も、行政や管理者に相談して手続きすると借りられる可能性があることを知っていたので、まずは場所を管理する方に相談しようと思っていました。

“ぶちま”を数回実施し、ロハスフェスタなどの大型マルシェにも出店してノウハウ

を学び、屋外での出店に慣れた2021年に「そろそろ池田城跡公園でのマルシェを具体的に考えよう」と思っていたら、なんとなく参加したエリプラ会議の同じテーブルに、城跡公園の指定管理者である阪神園芸さんがいらっしゃったんです。「これはチャンスだ！」と名刺交換させていただき、ご相談をスタートできたのがすごく嬉しかったですね。作家さんの販売ブースやフリーマーケット・飲食・音楽などのコンテンツを想定しながら、緑に囲まれながらナチュラルに過ごせる、のんびりしたマルシェを目標に計画を練っていきました。お城を前面に出したマルシェにしたいので、名前は「お城まるしえ」に。Canvaという無料で使えるデザインツールでロゴやチラシを作り、instagramやFacebookなどで告知しました。初回は2022年春に実施し、晴れたこともあり大成功しました。城跡公園の

雰囲気大切にすることを第一に考えて企画し進めたことが功を奏したと思います。コロナ禍で開催日程に慎重になったのもいい経験です。出店者用駐車場の確保など課題は残りましたが、近隣事業者さんのご好意で駐車場を貸していただけるようになるなど、今後も継続開催に向けて反省点やブラッシュアップすべきことを出店者や来場者、指定管理者などみなさんからフィードバックを頂きながら、より良い内容にしていけるように頑張っていきたいと思います。





山田勝也 さん

どんなエリアが好き？

五月山。街の中心からこんなに自然豊かな場所に徒歩でアクセスできる場所をほかに知りません。

何をするのが好き？

ロードバイクで車が通れない道を走り、ご当地の隠れた名店を発掘するのが楽しみです。

先輩インタビュー

（事業者代表）

キーワード：付加価値創造
ビジョンの共有、利他の精神

地域に根ざした商業ゾーン「IKEDIA」を立ち上げ 地域内の企業と一体となり、未来志向で池田の 発展・繁栄に貢献していきたい

Hop ホップ

「賑わい」とは意図的に作るものではなく、人はその場の環境や雰囲気「いいな」と思えば自然発生的に集うものであると捉え、まずは中心市街地である駅前を「魅力的で心地よい場所」にすることを第一義として施設整備に注力しました。

Step ステップ

サンシティ池田内の新たな商業ゾーンとして「IKEDIA」を立ち上げ、図書館の誘致やクリニックの集積、基礎的な商業テナントの開発を行い、市民の皆様へ新たなライフスタイルをご提案していくことで、地元地域における経済活動の活性化を促しました。

Jump ジャンプ

駅周辺をはじめ中心市街地を、これまでより一層魅力的な場所に昇華させるため、行政や地域内の企業様と一体となり、池田に必要とされる付加価値とは何なのか、効果的で実践的な議論を行い共通の最適解やビジョンを導き出し、市全体の発展に貢献していきたいです。

インタビュー詳細



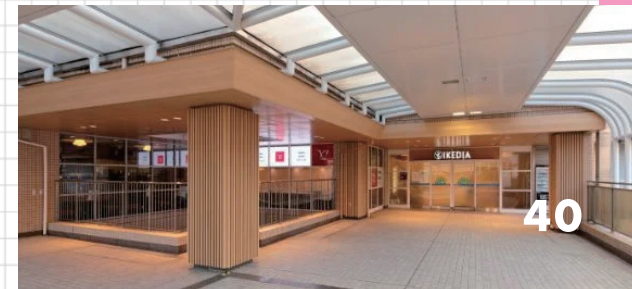
共通したビジョンを持って それぞれが日々少しずつでも変化し続けることこそが 永続した街の発展・繁栄につながると信じて

私どもは、「地域に必要とされる場の創出」を開発コンセプトとして、その場を利用される皆様の「利便性」「ステータス」「期待感」「満足感」にお答えするために、地域に密着した商業活動を通じて集う方々の生活価値の創造や向上に貢献するため、2019年春に阪急池田駅直結の商業施設サンシティ池田内に新たな商業ゾーン「IKEDIA(イケディア)」を立ち上げました。まずは地元のための施設として、サービス機能を集約し利便性を高めることで街の中心施設としての役割を担うべく、そこに集う人々のコミュニティ形成の促進を目指し、「IKEDIA」に訪れて下さったお客様にとって木の下でくつろいでいるかのように心地よい空間を創出していくことが活動の第一歩となりましたが、昨今少しずつ市民の皆様の生活スタイルが「梅田や川西に行く」流れから「地元で消費する」流れへと変化が芽生え出しているようにも感じています。

この流れを更に大きなものにしていくためには、池田の移動容易性+徒歩圏内に様々な魅力が凝縮しているという優位性を活かし、中長期的な視点に立って、公共空間を含めた駅前エリア全体に「住まう」「生活する」「働く」「育む」「楽しむ」などの要素がバランスよく配置されている「魅力ある街」づくりが必要です。それらを実現させるためには、私どもだけでなく、行政や阪急グループ様、ダイエー様、サンシティ池田様、ブランマルシェ様、ステーションN様、日清食品様など、駅前エリアの付加価値創造を担っておられる皆様方と共に20年先・50年先を見据えた地域の安定継続的な発展や更なるエリアの付加価値の向上について共通のビジョンやイメージをもって、それぞれが利他の精神を持って役割を果たしていくことが不可欠であると考えております。そうすれば池田がどこよりも「魅力的な街」に生まれ変わり、ひい

では広域から池田を「目的地」として訪れていただける方を更に創出することも夢ではないと確信しております。

昨年は、サンシティ池田の外部照明の改修工事にあわせ温かみのある光に変更しましたが、これはブランマルシェ様の改修工事の意匠デザインに合わせて場所の統一感を持たせたいという思いをもって取り組んだものです。このような小さな変化を積み重ね、そこに集う皆様に「なんか最近の池田ってちょっとずつ良くなってよね」といつも感じていただけるような活動を継続させ、それによってその場所に自然と人が集まる場となるよう、私どもは常に新たな挑戦に果敢に取り組んでまいりたいと思っております。





立花智明さん

どんなエリアが好き？
自然が多く、国際性も豊かな池田に魅力を感じます。

何をするのが好き？
登山や歴史探訪、家庭菜園での土いじりなどが好きです

指定管理者代表

先輩インタビュー

キーワード：PFI、コラボレーション
それぞれの持ち味、まちの多様性

魅力を最大化して地域に貢献「池田城跡公園」

Hop
ホップ

池田城跡公園の魅力をさらに引き出して周知し、池田城跡公園のファンを大切にしながら来場者数を増やしていきたい。

Step
ステップ

エリプラmtgに行くと、市民や他の事業者の方の声をダイレクトに聞け、管理に反映できる。未来ビジョン冊子がつながりを生む一端になればいいと思う。

Jump
ジャンプ

指定管理、市民、府県の枠を超えてつながっていきながら、駅前エリアそれぞれの持ち味を活かして、池田駅前全体の活性化を考えたい。



エリプラとの出会いが事業活性に 多様な主体が作り出すいけだ駅前に期待

阪神園芸株式会社は、指定管理者として2020年4月から池田城跡公園を管理運営しています。城跡公園の景観にとって植栽は非常に重要です。桜・百合・紅葉などの四季の味わいがお城を引き立て、野鳥のさえずりと共に気持ちを和ませる公園の雰囲気を作り出しています。落葉の時期は特に手入れが大変ですし、雑草を抜いたり球根を1つひとつ耕すのは重労働ですが、園芸のプロが庭園の状態を保ち、樹木医と連携して虫や病気をケアすることで来場者に「よい景観をありがとう」と声かけいただいたり、来場者アンケートも高評価を多くいただけるのが何より嬉しいですね。今後も来場いただくだけで心豊かになれるムードづくりをしていきたいですね。エリプラ会議には「市を良くしていくた

めに何かできたら」と、いう思いで参加しています。会議は市民の方の声をダイレクトに聞く良い機会になっていて、お城の運営に反映することができています。会議参加者の方に企画頂いて始まった“お城まるしゅ”は今は人気イベントの一つになりました。人と人の繋がりが広がっていくことがとても面白いですね。エリプラで繋がった事業者さんや指定管理者さんのおかげで事業が豊かになっていくのを感じます。五月山動物園とのコラボレーションでは、“ウォンバット御城印”を限定300枚で販売し、売上の半額でワイン(世界最高齢ウォンバット)のバースデープレゼントの乾草を五月山動物園の松本園長へ寄贈しました。お城をテーマにして尼崎城や伊丹城とのコラボ企画なども進んでいます。指定管理

の枠や府県の境を越えた事業展開ができるのがPFIの醍醐味です。様々な運営の可能性を、多様な繋がりの中から見出していきたいですね。
いけだ駅前には様々なエリアがあり、それぞれの持ち味を活かして全体的なまちの賑わいやムードを作り出すことができます。人との出会いや交流によって“エリアの未来予想図(ビジョン)”を共有することで、多様な主体がまちの多様性を作り出していくようになるいけだ駅前に期待していますし、自らもその一員になりたいと思います。





吉岡 博亮 さん

どんなエリアが好き？

さくら通り沿いの町家、
旧街道沿いの歴史的建築
物、五月山公園

何をするのが好き？

人と一緒に
楽しいコトを作る、
多様な人と対話する

先輩インタビュー

(エリプラ代表)

キーワード：官民連携、エリアプラットフォーム
エリアマネジメント、日常、持続可能性

池田官民連携の「いけだエリアプラットフォーム」

Hop
ホップ

池田市観光案内所や池田駅構内の大阪池田ゲストインフォメーションや地域メディア『いけだ報道』を運営する民間のまちづくり会社に所属しています。

Step
ステップ

私の活動の根幹は人。まちに暮らす多様な人がもっと自由に気軽に活動できるようにしていきたいと考え、エリプラではコーディネーターとして参画しています。

Jump
ジャンプ

ほんの小さなコトでも構いません。自分のできるコトを持ち寄り、つながり助け合いながら、まちへ還元していく。そんな持続可能な仕組みを実現したいです。

インタビュー詳細



目標は、持続可能な エリアマネジメント組織の構築

初回の『おさんぽマルシェ』では駅前に大きなにぎわいを生みました。これは駅前の超一等地グランドレベルの持つポテンシャルを再確認できる機会となりました。

2回目の『おさんぽマルシェ』のテーマは、さらに一歩進んで「日常への実装」です。年に一度のイベント開催時のにぎわい、何も無いゆっくり過ごせる日常、この両方を受け入れることができる駅前に必要、器としての機能を、社会実験を通して追及

していきます。何が必要で、何が要らなくて、どう工夫すれば良いのか？一つひとつ日常のシーンを想定して、丁寧に検証していきます。そしてその結果を近い将来実施される駅前の再整備につなげていけたらと考えます。

エリアプラットフォームの役割は、イベントの開催だけではありません。想いをもつ方々が気軽にチャレンジできるサポートや新たな価値を生み出す人と人とのコーディネート、持続可能なエリアマネジメント組

織の構築など多岐にわたります。一人では大変なボリュームですが、一人一人ができるコトを持ち寄り、つながりあいながら、助け合いながら、育てていけたらと必ず実現できると信じています。

誰もが自由に使えて、目的があってもなくても過ごしやすく、行けば何か新しいコトに出会える。そんなワクワクする空間を駅前に一緒に作っていきましょう。



まちづくりの潮流や キーワード



Column

リビングラボ(拠点)



事例:「柏の葉アーバンデザインセンター」(千葉県柏市)

市民・事業者・行政・大学など、まちの利害関係者が課題を共有して、解決のためのアイデアを共に考え、具体化していくための共創の場のこと。リビングラボの活動は日本でも広がっており、生活者視点に立った新しいプロジェクトを生み出すために、様々な実験的手法で運営されています。

テレワークなどによる働き方の変化



感染症の流行により、テレワークが急速に普及。自宅やその他拠点での活動時間が増加し、働く人々や学生等の生活様式が大きく変化したニューノーマル時代に突入しました。ワークライフバランスの重視など意識も大きく変わり、二拠点生活・職住遊学の融合・コワーキングスペース・ゆとりある屋外空間などが広まり、まちづくりにもこれまでとは違ったアプローチが求められるようになりました。

遊休不動産の活用



遊休不動産の再利用が注目されるなか、地域再生と結び付ける動きが注目されています。市民やその土地を訪れる人達が必要とする形に合わせてコミュニティカフェやコワーキングスペース等「シェアスペース」としての利用が目立ち、ニーズにフィットする様アップデートする事例も多く見られます。

まちのオープンスペースの有効活用や、新たなコミュニティの創出



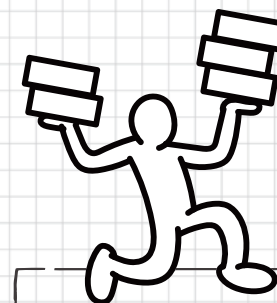
コロナ後の日常で、公園や民間のオープンスペースを有効に活用し、ソーシャルディスタンスを保ちながらも賑わいのあるまちづくりが求められています。

「駅まちデザイン」の考え方



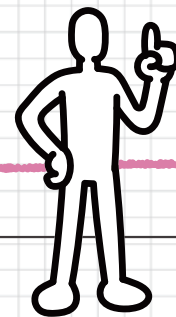
まちの中心となる駅・駅前広場・周辺市街地が一体となった「駅まち空間」の再構築のため、国土交通省が駅まちデザイン検討会を設置しました。働く人にも住むにも快適な環境、ゆとりあるスペースへのニーズが高まる中、安全性、快適性、利便性を備えた「駅まち空間」の整備が期待されています。

あなたの企画をプロジェクト化しよう!

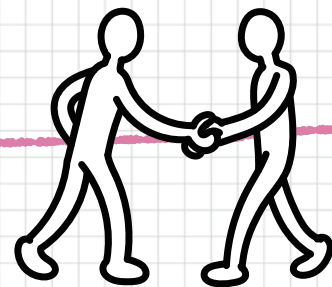


まず何が必要か
整理してみる

必要なサポートや予算



アイデアや構想を
誰かにしゅべってみる、相談してみる



詳しい人や関連団体に会いに行つて
助言を得たりしてみる

小さな規模で実現してみる
得た気づきや反省を
次に活かす



必要な外的サポートは
だんだん少なくなっていく

できることや事業スケールは
だんだん大きくなる

現在

歳

歳

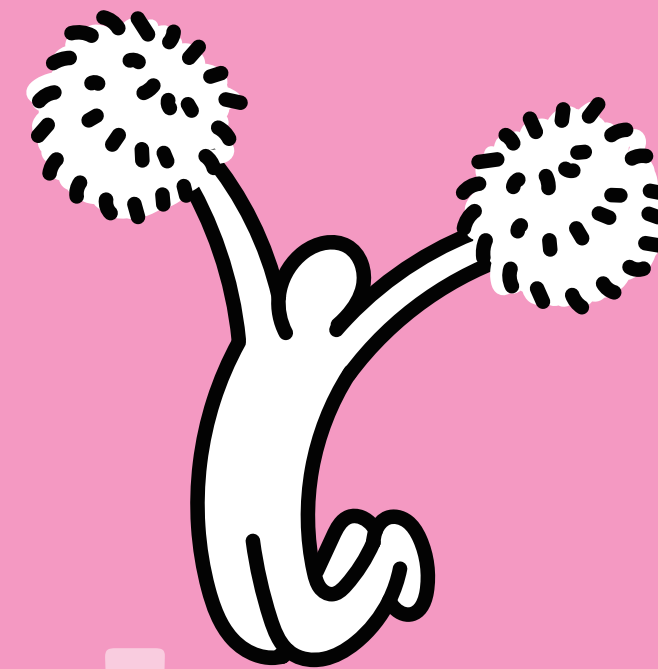
アイデアがまとまってきたら、今度は時間軸を考えながらプロジェクト化していきましょう。「何歳までにこれをやろう!」と目標を立てて、いつまでにどんなことができたらよいか逆算して考えてみましょう。最初は外的サポートがたくさんいる状態かもしれませんが。相談し、テスト実施や実験を繰り返

すことであなたの経験はどんどん増えて、できることやアイデアの幅が大きくなっていきます。未来ビジョンを実際に叶えていく様子を想像しながら、その実現にむけて一つひとつの動きをシュミレーションしてみましょう。

make the

エリプラに参加して
あなたのプロジェクトを

実現しよう!



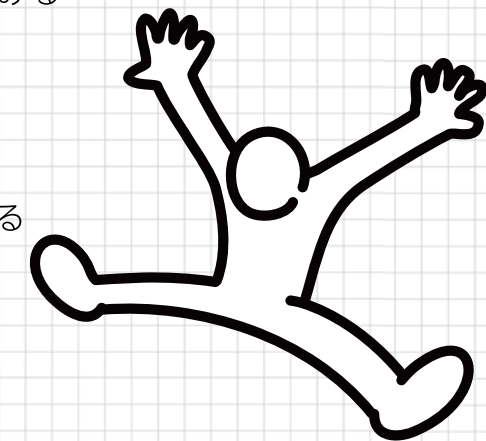
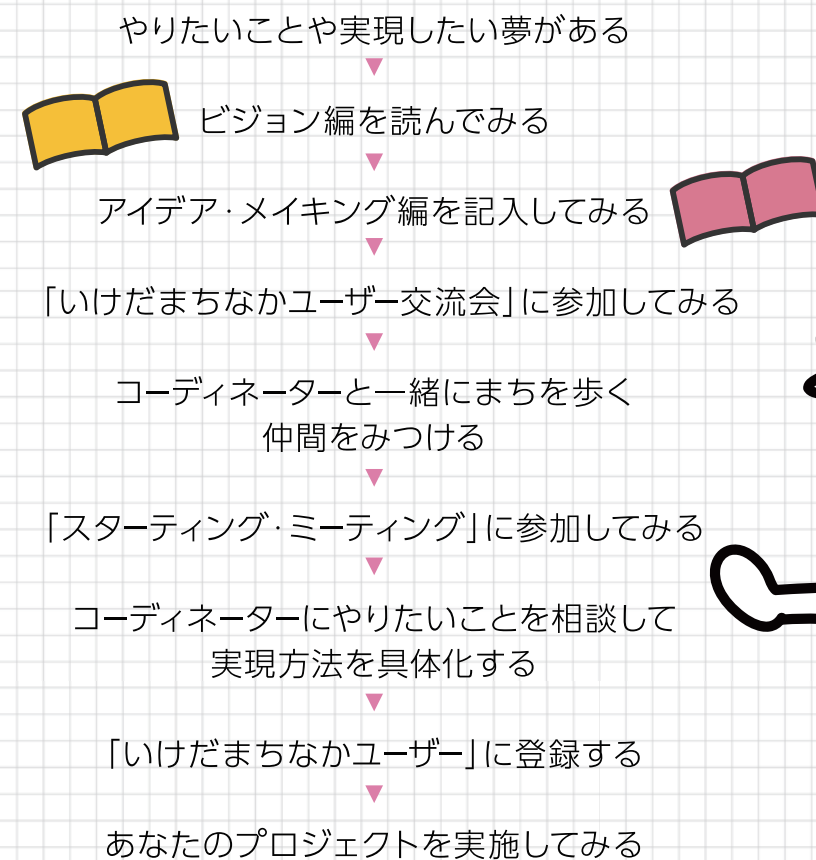
project come true

いけだまちなかユーザー交流会や スターティング・ミーティングで あなたの活動をサポート

定期的を開催する「いけだまちなかユーザー交流会」では、これから始めたいと思っている人から既に活動をしている人までが集まり、現況をシェアします。そこから仲間を見つけて、一緒に活動を行うのもよし。またコーディネーターが先導して、スターターのためのまち歩きも実施しますので、いけだの魅力を再発見しに出掛けて、あなたのアイデアを膨らませましょう。

スターティング・ミーティングで、コーディネーターが個別にご相談に乗ります。必要な行政手続きから融資情報まで、まちに関わる様々なことをワンストップでサポートします。ミーティング後、「いけだまちなかユーザー」にご登録いただければ、引き続き様々なサポートを受けられます。また、ユーザー同士はweb上で活動内容をシェアできます。

あなたのプロジェクトを 実現するまでの流れ



あなたのビジョンが 一歩進んだ・かなった写真をはろう

エリプラで話したとき、仲間を見つけた日
なにかやってみた日..... いろいろな言記録を残そう!

わたしのビジョンを
みんなのビジョンに。

みんなのビジョンを
わたしのビジョンにしよう！

